

展覧会情報

この冬以降開催される地図・地理・歴史に関する展覧会・展示会等についてお知らせします。

■描かれた都市の姿ーパノラマ地図の系譜ー

会場： 堺市博物館

電話072-245-6201

会期： 2007年3月3日～5月6日



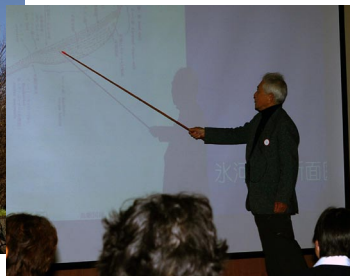
■山の科学画展

会場： 千葉県立中央博物館

電話043-265-3111

会期： 2007年3月3日～5月27日

3月18日、「山の科学画展」の講演会「山の科学画ー山を調べ・山を描くー～波線の径～」講師：五百澤智也氏（地図情報センター評議員）を聴講しました。定員超過の満員の会場で、ステレオ写真による山岳鳥瞰図の製作、氷河地形のお話など、バラエティに富んだ楽しい講演会でした。



平成18年度 第1回巡検

平成19年3月3日（土）に平成18年度第1回巡検「小田原（二宮尊徳記念館・かまぼこ博物館）」が暖かい晴天の下、開催されました。

当日は小田急栢山駅を起点に、二宮尊徳記念館を訪れ、同館では中村静夫先生による小田原宿の興味深いお話を伺いました。



二宮尊徳は薪を背負っている銅像をご存じでも、その実像を知らない方が多いと思います。同館ではアニメ映画と興味深い解説でこの偉人の波瀾万丈な生涯を解説してくれます。生家を見学した後、相模沼田から大雄山線に乗り、小田原で乗り換え箱根登山鉄道風祭で降りて、かまぼこ博物館を見学し帰路につきました。

平成19年度は、簡易GISソフト勉強会・地図会社を訪ねて・巡検の3回を予定しています。



地図絡み

第28回 八甲田大岳スキーコース「天地の境」

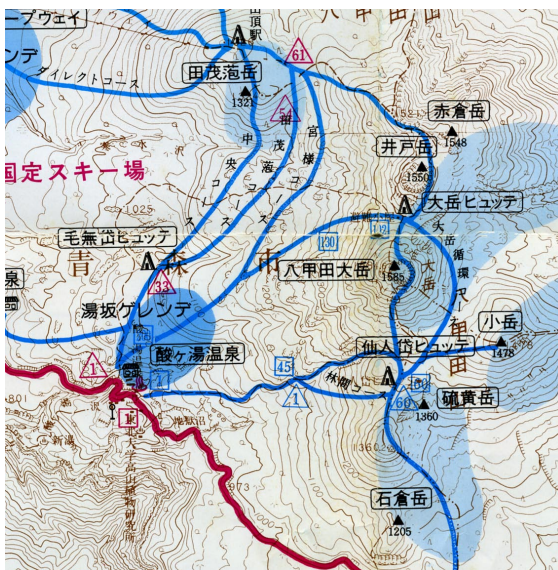
井口悦男(帝京大学理事)

春スキーの季節が、今年も近づいた。この2月はじめ、青森は八甲田の前岳で、ツアーの人達が雪崩に襲われたニュースが報ぜられたばかりである。この山々は、緩やかな火山斜面のため雪崩が少ないとされ、永年この春山でシールをはいてあちこち楽しんできた。

昭和30年代では、盛岡から北の景色は、その南とは違っていた。スキーの基地酸ヶ湯は大きな混浴風呂を中心とする、巨大な一軒宿で、格安扱いのスキー客には、硫黄泉の臭いとともに、毎日山盛りのイカソーメン、斑入りで大きな鱈子のブツ切り、長芋の千切り、そして根曲がり竹の煮付けに加わえホッケかカレイが副えられる食事は、今思えば典型的郷土食として貴重であるが、宿屋のものとしていかにも、わびしく感じた。

そう思えたのは、薄暗らい白熱灯下の食事の故でもあった。この2階の大広間に朝夕出掛けるのに、宿の中を流れる酸ヶ湯沢を長い廊下で渡った。その途中に、自炊客用よろず売店があり、居室のコークストープにのせて焼く鰯を求めたりしたものだった。

天候が落ち着く3月下旬、1週間か10日を予定し、山歩きをめざした。風のない晴天に恵まれれば、夏場の木々の下道とは対照的な、見通しの白銀大



八甲田山 酸ヶ湯からのスキーコース
大岳循環コース45番の東、「仙人岱ヒュッテ」の注記がある。その「仙」あたりが「天地の境」と私称した所である。(昭51年発行 国鉄パンフの図による一国土地理院5万分1加刷)

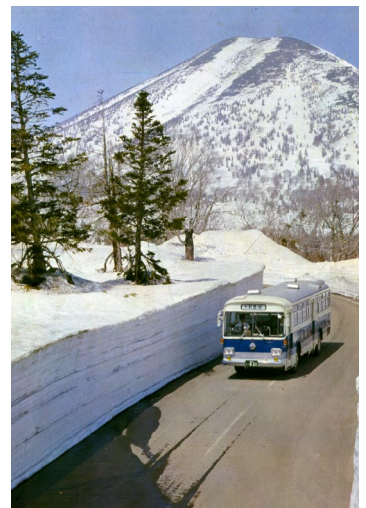
地に、まばらな樹木が続く夢幻境であった。カラカラと霧氷が身近で散る春景色も楽しめた。

奇怪な雪だるまの樹氷(モンスター)は、この山々の一定の高さ以上で出現する。そのはじまりとなるスキーコース上の地点として、仲間うちに通じる「天地の境」という地名がある。酸ヶ湯からの大岳コースで、地獄湯の沢に入り、谷間の硫黄地点を上ると、谷道が急に狭まり険しくなる。ここはよく氷りついて難渋した。しばらく慎重に登ると、ポッカー堅い雪の大平面におどり出る。あたり一面、雪で厚着した奇怪な樹氷のお出迎えともなる。

この急坂の、景色の転換点を「天地の境」と名付けた。スキーコースには案内標の、木に装着された番号札が、上り側奇数、下りに偶数で見られる。しかし、「天地の境」の場所には、この札はない。風の抜ける所で、雪が札に貼り付き、案内の役目をしてくれない。風が強くて休憩場所にもなれない。したがって従来からこの地名はとくにない。

しかし、コース上の転換点である。仲間うちでこの地点を伝える地名が必要であった。地名とは、このようにある必要性から、いつの間にか発生し、必要性を感じた人たちにより定着したのではなからうか。

(07.02.28)



毎年4月1日開通の青森から十和田湖コース国鉄バス風景(同パンフ表紙による)

なおスキー図は、先行欧米地形図加刷図を参考に、陸測図の「赤倉近傍」(昭5)のほか、東京鉄道局(昭10)、各現場発行のものが今回引用の国鉄図と同様に見られる。

ICICニュース Vol.11 No.4通巻40号
発行年月日:2007年(平成19年)3月30日
編集・発行:財団法人 地図情報センター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5
神保町センタービル5階
Tel.03-3262-1486 Fax.03-3234-0872
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/icic/>
E-mail icic_map@yahoo.co.jp